

小規模事業者持続化補助金計画書ライティングテンプレート

※5 ページ以降に注釈をつけています。

全体を 5 ページ以内に収めます(3 ページでは内容を書き込めていないことになるので、4-5 ページ)。

＜申請者名＞【必須記入】

--

＜経営計画＞【必須記入】

1. 自社の事業概要

(1) 事業・商品サービス・客層等

◆事業

<屋号>：

＜業種＞：

(従たる事業として)

＜開業日＞： 年 月 日

＜従業員＞： 名（店主除く。）

＜年間売上高＞： 万円（ 万円/月平均）

・売上内訳：

- 0%
- 0%
- 0%

＜商品・サービスの内容＞

•

•

•

＜客層・客単価＞：

- $\mathbb{Y}$
- $\mathbb{Y}$
- $\mathbb{Y}$

(写真)

(2) 市場性及び市場動向

①

②

以上に書かせていただいた市場性、市場動向を踏まえて、本事業を計画いたしました。

(3) 特徴(経営方針と強み)

① 経営方針

- ・
- ・
- ・

② 強みとして認識していること

- ・
- ・
- ・

(これまでの取組み例)

- ・
- ・
- ・

2. 新型コロナウイルス感染症の影響・既に取り組んでいる対策

(1) 自社の経営・事業環境への影響

① コロナ前と比べて大幅に売上が落ちました
表

- ・
- ・

② 客数減の影響が出ています

- ・
- ・

③ 現在、取り組んでいる対策(営業面での取組み)

- ・
- ・

(2) 現状の整理

①

②

③

(3) 課題

①

②

③

(4) 市場機会

①

②

③

<補助事業計画> 【必須記入】

1. 補助事業名 (30 文字以内で記入すること)

2. 補助事業の内容

(1) 補助事業内容 (取組内容)

①

・

②

・

③

・

対象別につぎのような取り組みになります。

対象者	ニーズ	内容	特徴	販売方法

(2) 取組の背景 (強みと機会の認識)

◆これから取り組む予定のこと

「2 新型コロナの影響 (4) 課題」であげた課題を解決するため次のことを取り組みます。

①〇〇の課題への対応・・・

・

・

②〇〇の課題への対応・・・

・

・

③〇〇の課題への対応・・・

・

・

◆事業実施体制(役割と経験)

表組みにすると見やすい

(代表)

(社員)

(専門家)

(外注スタッフ)

◆実施スケジュール

	年	月	年	月	年	月	年	月

3. 補助事業の効果

①本事業取組により既存事業に上乗せされることが見込まれる金額

・

・

・

・

②本事業の経費回収の見込み

・

③収益効果以外の効果

・

・

・

※経営計画・補助事業計画等の作成にあたっては商工会・商工会議所と相談し、助言・指導を得ながら進めることができます。
※各項目について記載内容が多い場合は適宜、行数・ページ数を追加してください。また、必要に応じて、図や写真を貼り付け
しても構いません。

※採択公表時に補助事業者名、代表者名、補助事業名、事業概要、住所、業種、法人番号（法人の場合）及び補助金交付申請
額を公表することがありますので、予めご承知おきください。

以下、注釈です。

1 ページの売上内訳について

全体を100%とした売上構成比も書きます。

1 ページの写真について

審査員に事業イメージを持っていただくため、店内写真等写真を挿入するのが良いです。

1 ページ 1 (2) 市場性及び市場動向について

事業（商売）の対象としているエリア、顧客がどれだけの市場性（収益性）があって、どのくらいの市場規模なのか、また、どういう特徴があるのかを書きます。

2 ページ (3) ② 強みとして認識していることについて

これまで事業を継続してきたからには他社（者）と比べての強みがあるはずです。なるべく客観的に強みをあげましょう。

2 ページ (3) (これまでの取組み例) について

強みを活かしたこれまでの取組み例を書きます。

2 ページ (2) ③現在、取り組んでいる対策(営業面での取組み)について

感染対策ではなくて、売上回復を図るための営業面の対策で取り組んでいることについて書きます。

2 ページ (2) 現状の整理について

コロナ禍で事業がうまくいかなくなっている現状について説明します。

3 ページ (3) 課題について

現状を打開するための課題を書きます。

3 ページ (4) 市場機会について

1 (1) で書いた市場に新しいチャンスの芽が出てきていませんか？それは新しい商品ニーズで会ったり、新しい客層であったりです。それを書きます。

3 ページ 1 補助事業名について

補助事業名で悩まないことです。補助事業名で採択の可否が問われることはありません。

3 ページ 2. 補助事業の内容 (1) 補助事業内容 (取組内容) について

1 (3) で書いた強みを活かして、2 (4) で書いた市場機会を取りこむための取組みになっている必要があります。⇒2 (2) はそういう意味です。

客観性を持って書くのですが、あなたの想いが十分伝わるライティングが秘訣です。

4 ページ ②本事業の経費回収の見込みについて

補助事業にかかる経費を何カ月で回収できるのか、月の営業利益から計算（概算で良い）します。